

議長(東久世) 別段御質問ナクハ第二讀會ニ移
ル

(紫田書記官朗讀)

勅令第 號

神宮司廳官制中左ノ通改正ス

第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

祭主故障アルトキハ臨時ニ祭主ヲ置クコト
ヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

議長(東久世) 御發議ナリクハ本案可決ト認メ第

三讀會ニ移ル朗讀省略

議長(東久世) 御發議ナリクハ本案可決ト認ム

○

議長(東久世) 次ハ臺灣總督府官制中改正ノ件

及臺灣總督府地方官官制中改正ノ件ヲ合シ

テ第一讀會ニ附議ス朗讀省略

報告員(河村) 報告スヘシ臺灣總督府官制中改

正ノ件ノ改正ノ要點ハ從來ノ警察本署ヲ廢

シテ蕃務本署ヲ置キ其ノ總長ハ勅任又ハ奏

任ヲ以テ之ニ當テムトス之レ蕃務ノ進歩ト
共ニ一般警察事務ト蕃務トヲ別ニスル必要
アル爲メナリ而シテ一般警察事務ハ從來ノ
總督司ヲ内務司ト改メ内務局長ヲ以テ警視
總長ナル職ニ補スルコト猶ホ府縣事務官ノ
一名ヲ警務長ニ補スルカ如クシ以テ一般警
察ノ任ニ當ラシメムトシ又從來ノ土木局及
臨時臺灣工事部ヲ廢シ新ニ土木部ヲ設ケテ
併セ管掌セシム以上今回ノ改正ノ要點ナリ
又地方官官制中改正ノ件ハ從來廳ノ數二十

アリシヲ今回之ヲ併合シテ十二ニ減シ從來
廳長ノ外ハ判任官ノミナリシヲ改メテ主ナ
ル廳ニハ事務官ヲ置クコトトスルニテ事情
差支ナシト認ム猶臺灣民政長官アリ詳細ノ
説明アルヘシ

委員(大島) 書記官長ノ報告ノ如ク臺灣ニ於ケ
ル政務ノ發展ト共ニ事務ノ統一ヲ計リ無用
ノ政費ヲ節セムトスルコト本改正案ノ目的
ナリ從來蕃界ノ事務ハ警察事務ト共ニ取扱
ヒ來リシモ蕃界ノ事務大ニ發展シ蕃界廓清

ノ目緒就リ又一般警察事務モ發展セルヲ以テ之ヲ一部局ニテ取扱フハ雙方ノ爲メ支障アルニ依リ此際蕃務本署ヲ新設シ從來ノ警察本署ニ於ケルカ如ク監督事務ト執行事務トヲ合セ行ハシムルコトトセムトス又從來ハ普通警察事務ト一般行政事務トハ各別ノ部局ニテ取扱ヒ來リシモ臺灣ニ於ケル情況ハ有ラユル下級行政事務ハ警察事務ト密接ノ關係ヲ有スルニ拘ラス從來警察ト一般行政トハ之ヲ監督スル部局ヲ異ニシ之カ爲メ

往々統一ヲ失フコトアル故今回改正ヲ機トシ事實ニ最モ適應シタル組織ニ從ヒ之ヲ内務部ニ併セ行ハシメムトス又從來總督府ニハ土木局ト臨時工事部トアルモ之ニ從事スル官吏ハ殆ト雙方ヲ兼務セルヲ以テ徒ニ局ヲニニスルハ不經濟ニテ實地ニ適合セサルヲ以テ併合シテ土木部ヲ置キ之ヲ民政部内ニ置カサルハ土木工事ノ過半ハ臨時ノ性質ヲ有シ殊ニ事務ノ敏捷ヲ計ルノ必要アルヲ以テ民政部以外ニ獨立セシムルヲ適當トシ

別案ノ官制トシテ提出セリ
又地方官官制改正ノ件ハ從來廳ノ數二十ア
リ之レ土匪討伐等ノ爲メ其ノ區域ヲ小トセ
シカ交通開ケ産業發達セル今日之ヲ小區畫
トスルハ不經濟不便少カラサルヲ以テ之ヲ
十二ニ減シ中ニ就キ臺中臺南嘉義等平地ノ
方面ニ於テハ成ルヘク合併ヲ試ミ蕃界ニ接
スルモノハ蕃界事務ニ差支アルヲ以テ從來
ノ儘或ハ從來ヨリ小サクセルモノアリ宜蘭
ハ地勢上少シク從來ヨリ大トナリシモ桃園

ハ從來ノ儘トシ南投ハ臺東ノ東海岸ニ至ル
横斷路ノ出發點ナルヲ以テ此ノ方面ノ對蕃
上小區域ナルモ之ヲ獨立セシムルノ必要ア
リ又臺東ノ如キハ東海岸ノ地七十里ニ互リ
テ管轄スルモ此ノ如クシテハ良成績ヲ舉リ
ルコト困難ナルヲ以テ之ヲ二分シ事務ノ良
果ヲ舉ケムトス此ノ如クシテ合併セル廳ニ
在テハ從來ニ比シ面積人口及事務ノ分量ヲ
増大スルニ依リ廳長ノ外ニ高等官ヲ置キ之
ヲ課長ニ任セムトスルコト本改正ノ主要點

ナリ即十二廳ノ内六廳ニ高等官ヲ置キ他ノ
六廳ハ區域小ナルヲ以テ事務モ繁激ナラサ
ルニ依リ從來ノ儘トシ猶臺北臺中臺南ニ在
テハ民事調停ヲ行ヒ來リシカ大ニ民情ニ適
シ從テ事務モ繁忙ナルニ依リ更ニ一名ノ高
等官ヲ置カムトス其他基隆ハ臺北廳ノ所屬
トナルモ主要ナル場所ナルヲ以テ他ノ地ト
異リ事務モ多キ故之カ支廳長ハ高等官トシ
警視ヲ以テ之ニ充テムトス打狗モ亦之ニ同
シ以上ノ如キ改正ノ結果定員ノ一割五分ヲ

減シ蕃務本署ヲ置キ又砂糖ノ生産増加ノ結
果検査官吏増加ノ爲メ經費ヲ増スモ猶ホ差
引年額四十三萬圓計リノ節減ヲ見ルナリ右
ノ外之ニ伴ヒ間接ニ節減シ得ル所尠カラス
ト信ス

議長(東久世) 別ニ御質問ナクハ第二讀會ニ移
ル

(柴田書記官朗讀)

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條中「警察本署及左ノ五局ヲ」左ノ四局及
蕃務本署ニ「總務局」ヲ「内務局」ニ改メ「土木局」ヲ削
ル

第十八條中「警察本署及」ヲ削リ各局ノ下ニ「及蕃
務本署」ヲ加フ

第十九條中「警視總長一人勅任又ハ奏任」ヲ削リ
局長ノ次ニ「蕃務總長一人勅任又ハ奏任」ヲ加ヘ
局長五人ヲ「局長四人」ニ專任四人奏任ヲ專任四
人奏任内一人ヲ勅任ト「十二人」ヲ「十人」ニ「警視
專任三人」ヲ「警視專任五人」ニ專任二人ヲ專任一

人ニ「稅務官專任三人」ヲ「稅務官專任二人」ニ「二十
三人」ヲ「十九人」ニ「内二人」ヲ「内一人」ニ「海
事官專任三人」ヲ「海
事官專任二人」ニ專任五人ヲ專任三人
ニ「三百二十七人」ヲ「三百六人」ニ「二十二人」ヲ「十九
人」ニ「四十三人」ヲ「三十八人」ニ改ム

第二十一條 局長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承
ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指
揮監督ス

第二十二條 蕃務總長ハ蕃務本署ノ長ト爲リ
總督及民政長官ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理

シ其ノ事務ノ執行ニ關シ廳長及警察官ヲ指揮監督ス

第二十三條 總督府ニ警視總長ヲ置キ内務局長ヲ以テ之ニ充ツ

警視總長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ警察事務ノ執行ニ關シ廳長及警察官ヲ指揮監督ス

第二十六條及第三十一條中「警察本署」ヲ「内務局」又ハ「蕃務本署」ニ改ム

第二十六條ノ二、第二十六條ノ三、第三十一條ノ

二及第三十一條ノ三中「總務局」ヲ「内務局」ニ改ム
附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第一條中「基隆廳」「深坑廳」「苗栗廳」「彰化廳」「斗六廳」「鹽水港廳」「蕃薯寮廳」「鳳山廳」及「恆春廳」ヲ削リ臺東廳ノ次ニ「花蓮港廳」ヲ加フ

第二條中「技師奏任」ヲ削リ臺北廳及臺東廳ニ「警視各一人」ヲ各廳ヲ通シテ事務官十五人警視十

一人及技師十二人ニ「警視」ヲ「事務官、警視及技師」ニ改ム

第三條第一項ヲ削リ第二項中「千六百十四人」ヲ「千五百十四人」ニ改ム

第九條中「警視」ヲ「事務官及警視」ニ改ム

第十一條中「警視」ヲ「事務官、警視」ニ改ム

第十二條ノ二 事務官ハ廳長ノ命ヲ承ケ廳務ヲ掌ル

第十二條ノ二ヲ第十二條ノ三ニ、第十二條ノ三ヲ第十二條ノ四ニ改ム

第十九條中「五人」ヲ「十人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

議長(東久世) 御發議ナクハ第三讀會ニ移ル朗

讀省略

議長(東久世) 御發議ナクハ本案可決ト認ム

○

議長(東久世) 次ハ臺灣總督府土木部事務官特

別任用令以下四件ヲ合シテ議題トス第一讀

會朗讀省略